

平成31年度 評価計画及び自己評価

(計画)・中間・最終)

昭和中学校区 校番 25 学校名 呉市立昭和南小学校

a 学校教育目標	自ら伸びる みんなで伸びる	b 経営理念 ミッション・ビジョ ン	〈ミッション〉(学校の使命)一人一人の子どもがかがやき、この学校で学んでよかったと思える学校をつくる。 〈ビジョン〉笑顔と挑戦がいつばいの学校					
c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	本校の課題は学力の向上を図ることである。昨年度から学力フォローアップ校事業を受け、主に低学年の低学力傾向の児童に焦点をあてた授業改善及び学力補充の取組を推進してきた。また、一昨年度から全学年で実施した標準学力調査をもとに算数・国語40%未満の児童を取り上げ、補充学習や放課後にじ色教室を実施し、個別指導を充実させることで学力の底上げを図り、少しずつ成果もでてきている。 今年度は、さらに学習でのつまずきを明らかにし、授業での手立てを考えながら授業改善を推進させ、自分のよさを友達とのかかわりの中で実感できる(居場所づくり・絆づくり)場を意図的・計画的につくることで自己有用感を味わわせていきたい。 家庭環境が様々である本校児童の実態から、基本的な生活習慣を身に付け、体力の維持・向上の指導を徹底させたい。 また、教師が児童の前でいきいきと授業をし、児童と向き合える時間をつくるためにも働き方を見直し、業務改善を学校全体で進めていきたい。							
育成すべき資質・能力	○知識・技能 ○表現力 ○コミュニケーション能力 ○主体性・積極性							
評価計画(中期経営目標を設定してから①・②・③年目)						自己評価		
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	上半期 達成値 達成度 k 評価 下半期 達成値 達成度 k 評価		
***	確かな学力 学力の向上を図る	○基礎基本の確実な力をつける。 ○「聴いて、考えて、つなげる授業」を進める。(授業づくり)	・「スキルタイム」及び「放課後にじ色教室」で基礎学力をつける。	・学期毎の学期末テストにおける正答率40%未満の児童の割合	国語 5%以下 算数 5%以下			
			・学力調査等の課題を踏まえ、指導の重点化を図る。	標準学力調査の正答率40%未満の児童の割合	国語 5%以下 算数 5%以下			
			・ペア学習・グループ学習を位置づけ、互いに「あたたかい聴き方」「やさしい話し方」を大切にする。	全国の学力調査の正答率40%未満の児童の割合	国語 10%以下 算数 7%以下			
			・「授業中、友だちの意見をきくことができた」……自己評価 ・「相手に伝える発言をすることができた」……自己評価	80%				
**	豊かな心 自己有用感の育成を図る	○「一人一人が生き生きと活動し、自己有用感を実感できる学級づくりをめざす」。(居場所づくり)	・各学級でチャレンジ目標をつくり、みんなの力で達成できた経験を増やす。	・「学校生活は楽しい」……自己評価	90%			
			・一人一人が笑顔で活躍し、認め合い、高め合う場をつくる。	・「いろいろなことに挑戦し、できることが増えた」……自己評価	90%			
			○きまりを守り、自己コントロールできる力をつける。	・生活目標を守り、できたことは続けられるよう指導の徹底を図る。	・「自分にはよいところがある」……自己評価 ・「自分はみんなの役に立っている」……自己評価	85% 80%		
			・生活目標を守り、できたことは続けられるよう指導の徹底を図る。	・「生活目標を守ることができた」(毎月)……自己評価	90%			
*	健やかな体 基本的な生活習慣の確立と体力の向上を図る。	○生活のリズムを身に付ける。 ○体力の向上をめざす。 ○安全(防災)に対する意識の向上を図る。	・「早寝早起き朝ごはん」の指導の充実を図る。 ・生活リズムの確立に向けての保護者への啓発	・「早寝早起きを心がけた」……自己評価 ・朝食摂取率95%以上	90% 90%			
			・学級によるくれ・チャレンジマッチ・スタジアムへ参加 ・全校外遊びの時間の設定し、運動環境・用具の充実を図る。	・「8の字とび」で各学級呉市ランキングベスト10以上 ・「大体競進んで外遊びをした」……自己評価	85% 90%			
			・生活安全、交通安全について重点項目の徹底を図る。 ・防災教育の推進を図る。	・「交通ルールを守り、安全な登下校を心がけた」……自己評価 ・全学年、防災についての学習を計画実施する。	95% 100%			
			・生活安全、交通安全について重点項目の徹底を図る。 ・防災教育の推進を図る。	・「交通ルールを守り、安全な登下校を心がけた」……自己評価 ・全学年、防災についての学習を計画実施する。	95% 100%			
業務改善	教職員の健康を守り、教職員が自らの意欲と能力を発揮できる教育環境の整備	児童生徒と向き合う時間の確保	会議時間の短縮	児童生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合	75%			
		長時間勤務の削減	週1回の定時退校の徹底	時間外勤務が80時間を超えない教職員の割合	85%			